



輪之内町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象により世界各地で大規模災害が発生し、国内においても猛暑や豪雨災害など甚大な被害を及ぼす事例が毎年のように発生しています。こうした事態はまさに気候危機ともいえる事態と捉えられます。

私たちは、この危機的状況を認識し地球温暖化を喫緊の課題とし日々の暮らしの中でできることを考え、行動し、その対策に一人ひとりが積極的に取り組まなければなりません。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有され、この目標を達成するために「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする」ことが必要とされています。

輪之内町では第六次総合計画の基本目標のひとつに「環境にやさしく快適なまちづくり」を掲げ、豊かな自然環境を守り、誰もが安心して住むことができる環境を次世代へ引き継ぐために、町民及び事業者の皆様と共に「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年3月3日



輪之内町長

木竹隆之